

2010年9月30日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

高大連携事業（本学と恵那農業高校）

園芸を学ぶ高校生が福祉・介護の大学講義を体験

中部学院大学（学長 岡本 健）並びに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、ことし7月、恵那農業高校（校長 平岡 雅憲）と高大連携を締結しました。今回、連携の第1弾として、「社会福祉基礎」や「園芸福祉」を学ぶ恵那農業高校園芸デザイン科2年生38名が本学を訪れ、本学教員による特別講義を受けるほか、福祉・介護関連の実習施設を見学します。今回の主なねらいは、次世代の人材育成の一環として、園芸福祉士を目指して学習している高校生が、大学の専門教育を体験することにより、知的好奇心を高め、学ぶことの楽しさ、知ることの喜びを感じてもらうことです。今回の講義の体験を通じて、進路選択や職業選択の幅を広げることなどを期待しています。

記

- 日時 2010年10月6日（水）午前10時～午後3時
- 場所 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 関キャンパス 10202 教室ほか
（関市桐ヶ丘二丁目1番地 電話 0575-24-2211）
- 日程

10:00	大学着
10:10～10:40	見学
10:50～12:20	講義 脱「子どもの貧困」 宮嶋 淳 本学人間福祉学部准教授
12:20～13:10	昼食
13:20～14:50	講義 介護について 新井 康友 本学人間福祉学部講師
14:50～15:00	感想
15:10	大学出発

[備考] 恵那農業高校 恵那市大井町 2625-17（電話 0573-26-1251）

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 高大連携推進委員会（担当：安藤） TEL:0575-24-2766（直通） E-mail:n-ando@chubu-gu.ac.jp

農業高校との高大連携のねらい

中部学院大学・中部学院大学短期大学部

1 「趣 旨」

- (1) 未来を担う若者たちの育成にあたり、高等学校と大学が長期的な展望に立って連携協力をを行い、共同して、地域・社会に貢献する有為な人材を育成する。
- (2) 高校生が大学での学びに触れることにより、学習意欲や知的好奇心を高めるとともに、適切な進路選択、職業選択を行うことができるよう支援する。
- (3) 高等学校と大学との相互交流により、後期中等教育としての高等学校教育と、高等教育としての大学教育の相互の活性化に資する。
- (4) 大学入学前教育、リメディアル教育の在り方を検討するなど、高等学校教育と大学教育の円滑な接続を図る。

2 「交流テーマ」

- (1) 大学の講義への高等学校生徒聴講生の受け入れ（高大連携講座など）
- (2) 高等学校の学習活動や特別活動などの諸活動に対する大学の資源提供・支援・交流（出前講座などの講師派遣、教室等施設・備品の提供など）
- (3) 高等学校の生徒及びその保護者向け講座の開設・開講（講師派遣など）
- (4) 教育に関する諸問題についての情報交換と教職員の交流
- (5) その他双方にとっての有益な事業の実施

3 「農業高校と本学の高大連携の意義」

- (1) 生命体の育成を中心に心豊かな人づくり教育をしている農業高校の学習と福祉、介護や幼児教育などを行う本学の教育の教育理念とは共通点が多い。
- (2) 農業教育で身につけた知識・技術と豊かな人間性に加え、本学の福祉、介護や幼児教育の専門的知識・技術の学習により、進路選択・職業選択の幅を広げ、社会に貢献する人づくりに繋げる。
- (3) 農業高校と大学のもつ資源の交流を図る。（大学からは福祉・介護・教育などのスペシャリストによる出前講座、大学での体験講座等の提供。高校からは、農業や環境に関する農業高校の教育資源の提供。）

※1 これまでに本学が調印している高大連携校（締結順）

関有知高校、東濃実業高校、郡上高校、岐阜各務野高校、土岐紅陵高校、岐阜総合学園高校、関商工高校、山県高校、関高校、大垣桜高校、長良特別支援学校、岐阜農林高校、大垣養老高校、加茂農林高校、恵那農業高校、益田清風高校、飛騨高山高校（以上公立校） 済美高校（私立校）